



“地域のことは地域で考えよう”

2020年5月29日

## おきぎん県内景況・速報 2020年4月

—県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、一段と後退している—  
(下方修正)

### ■個人消費

スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を下回る。  
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで下回る。  
ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

### ■企業倒産

件数、負債総額ともに前年同月を下回る。

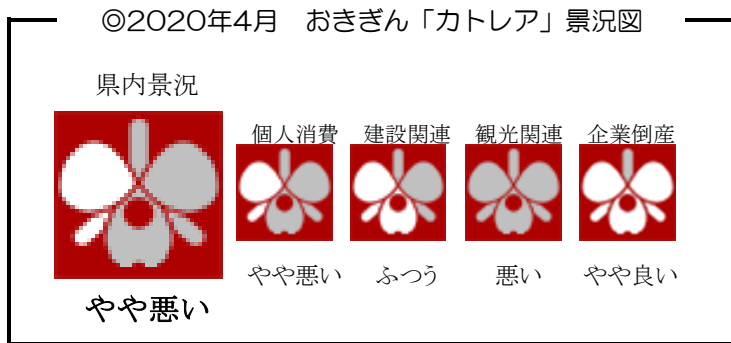
## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2020年4月分)



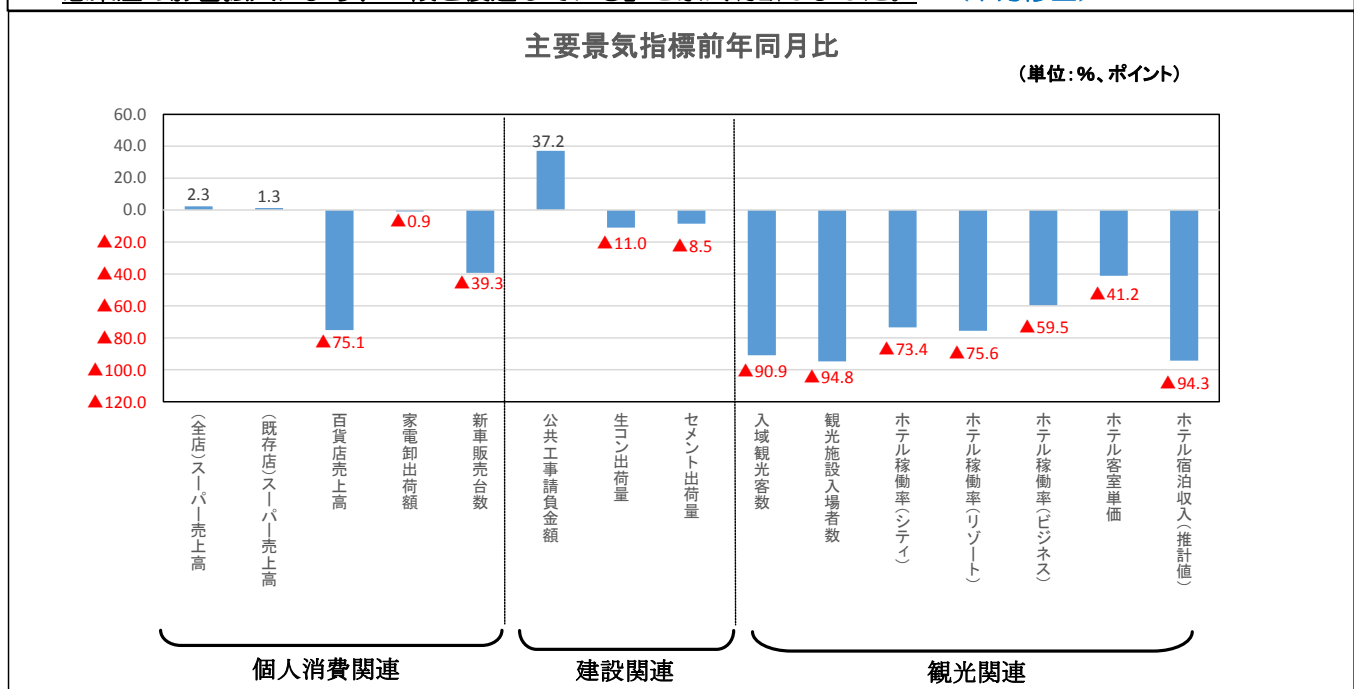
◎概況：県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、一段と後退している

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言をうけた臨時休業、時短営業などにより、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を下回りました。新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は4ヵ月連続で前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連は弱含みがみられる中、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費に弱さがみられ、観光関連は非常に厳しい状況にあることなどから「県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、一段と後退している」と景気判断しました。(下方修正)



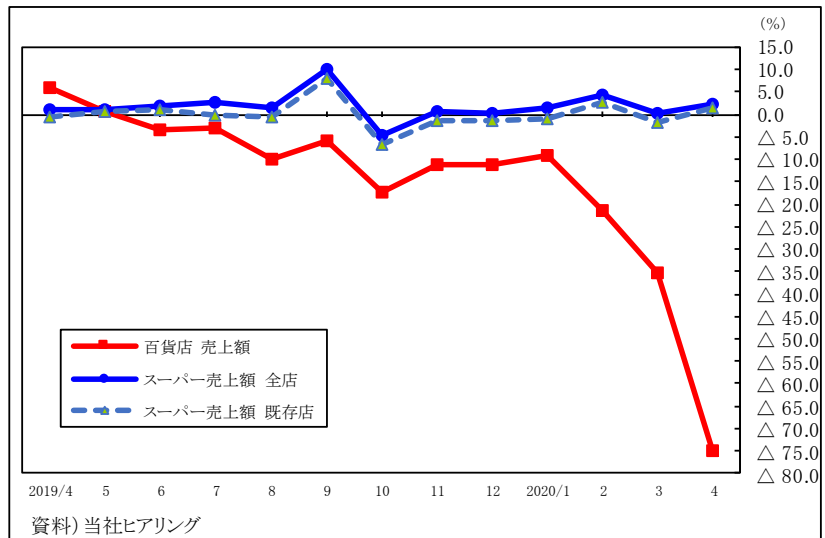


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：％

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2019/4	0.9	△ 0.6	5.8
5	1.2	0.7	0.7
6	1.7	1.2	△ 3.6
7	2.5	△ 0.02	△ 3.1
8	1.3	△ 0.5	△ 10.0
9	10.2	8.1	△ 5.9
10	△ 4.8	△ 6.6	△ 17.2
11	0.5	△ 1.2	△ 11.3
12	0.3	△ 1.5	△ 11.2
2020/1	1.4	△ 0.8	△ 9.3
2	4.5	2.8	△ 21.3
3	0.4	△ 2.0	△ 35.2
4	P 2.3	P 1.3	△ 75.1



注) 前年同月比

4月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比2.3%増)」は、新規出店効果や、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛の動きなどから、「食料品(同11.1%増)」が伸び、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同1.3%増)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、食料品が伸び、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同11.1%増)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や学校の休校などにより、オードブルなど清明祭(シーミー)用の需要は減少したものの、中食、内食需要が増加したことなどから、レトルト食品やパスタ、ラーメンなどに加え、調味料や生鮮食品など全般的に売り上げが伸び、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同54.5%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により臨時休業や営業時間短縮などにより、前年同月を下回りました。家電やドラッグ等の「家庭用品(同13.5%減)」は、マスク等の衛生用品が伸びたものの、新型コロナウイルス感染症の影響拡大などにより、全般的に売り上げが伸びず、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、緊急事態宣言が全国に拡大されたことによる営業自粛要請を受け、営業時間短縮および臨時休業などにより、11ヵ月連続で前年同月を下回りました(同75.1%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同36.2%減)」、バッグ等の「身のまわり品(同31.3%減)」、「家庭用品(同41.3%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や、臨時休業、営業時間短縮の影響により、前年同月を下回りました。「食料品(同19.3%減)」は、時間短縮により営業を継続したものの、催事・販促企画等は実施せず、また、他の売り場が休業したことなどから買い回り客が減少し、前年同月を下回りました。靴、化粧品等の「雑貨(同48.8%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大によりインバウンド需要が大幅に減少し、前年同月を下回りました。

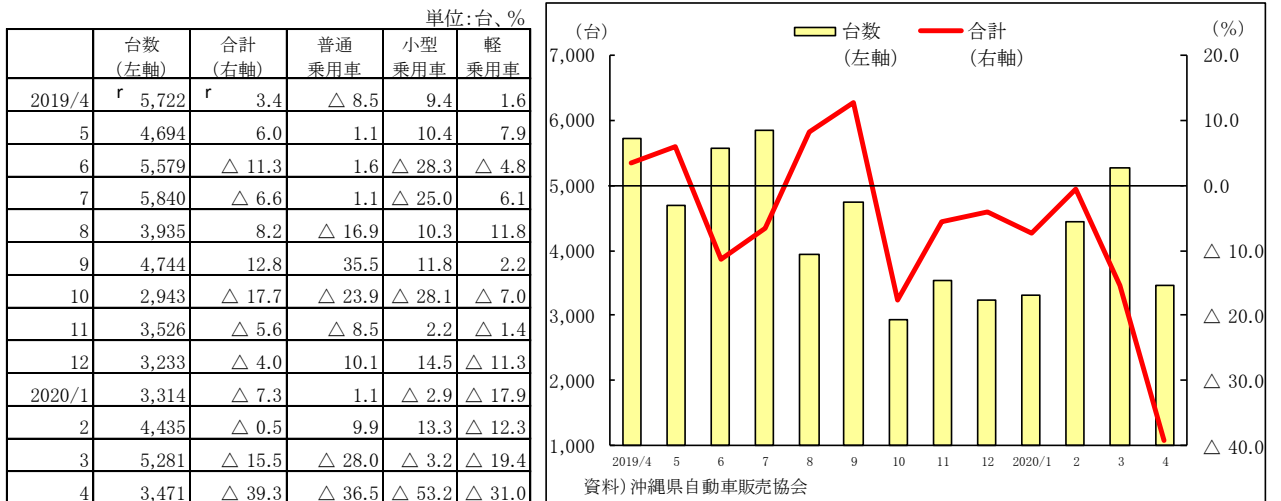
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、テレビ、エアコンなどの売上が伸びず、2ヵ月連続で前年同月を下回りました(同0.9%減)。品目別では、「冷蔵庫(同18.3%増)」、「洗濯機(同8.3%増)」、「VTR(同86.2%増)」、「電子レンジ(同11.2%増)」は、新生活需要などにより前年同月を上回りました。一方、「エアコン(同8.3%減)」は、気温が前年より低く推移したことから、前年同月を下回りました。「テレビ(同11.3%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、ホテル等の需要が減少し、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、7ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

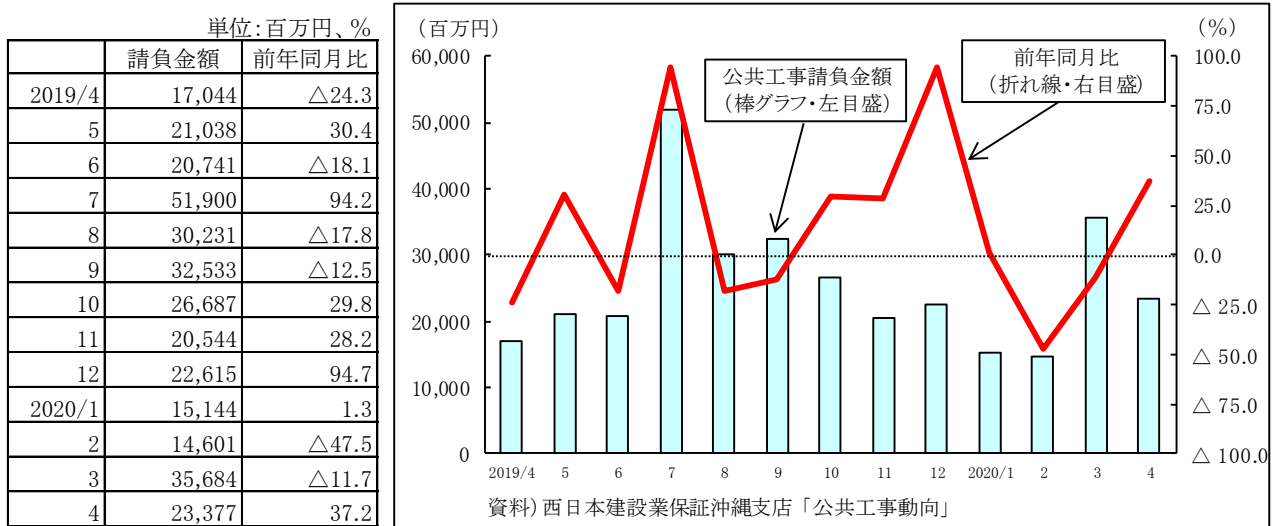
**新車販売台数**は、全体で3,471台(同39.3%減)となり、7ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同36.5%減)」、「軽乗用車(同31.0%減)」は、自家用車需要、レンタカー需要とも減少し、普通乗用車は2ヵ月連続、軽乗用車は7ヵ月連続で前年同月を下回りました。「小型乗用車(同53.2%減)」は、自家用車需要は増加したものの、レンタカー需要が減少し、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

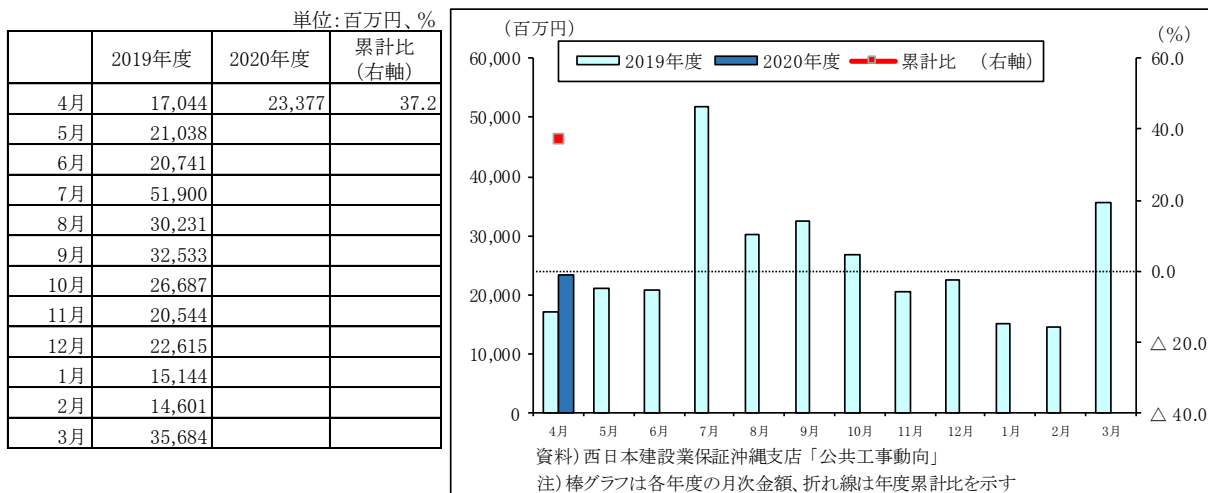


■ 建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



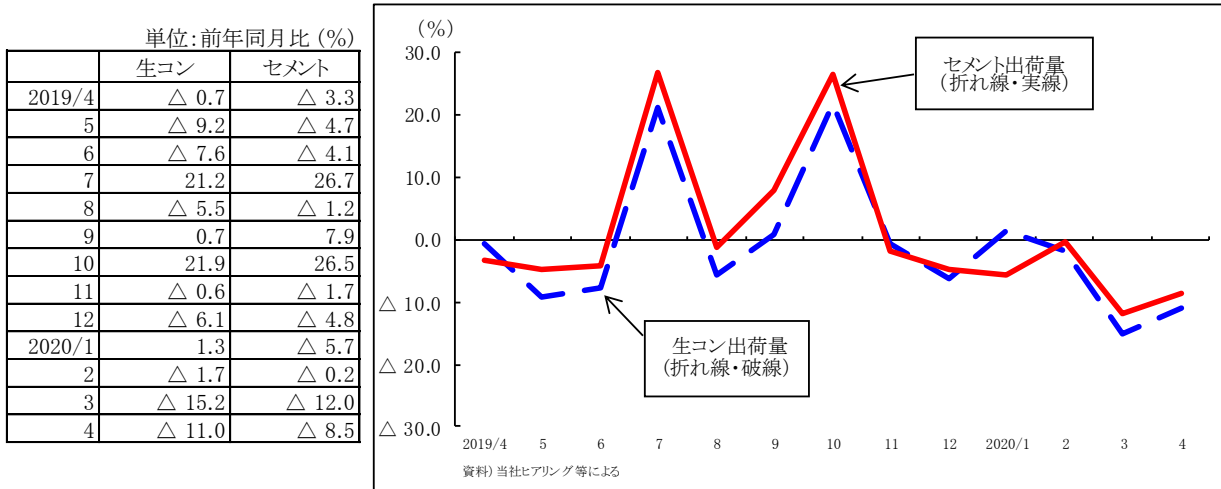
4月の公共工事請負金額は、前年同月比37.2%増の233億7,700万円となりました(3ヵ月ぶり増)。

発注者別でみると、「独立行政法人等(同69.9%増)」や「沖縄県(同30.6%増)」、「市町村(同58.8%増)」、「その他の公共的団体(同28.5%増)」は前年同月を上回りました。一方で、「国(同5.8%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】

2019年度の公共工事請負金額は、前年度比4.3%増の3,087億7,000万円となりました。発注者別でみると、「独立行政法人等(同30.2%増)」や「市町村(同24.1%増)」、「その他の公共的団体(同8.7%増)」は上回りました。一方、「国(同4.9%減)」や「沖縄県(同11.5%減)」は前年度を下回りました。

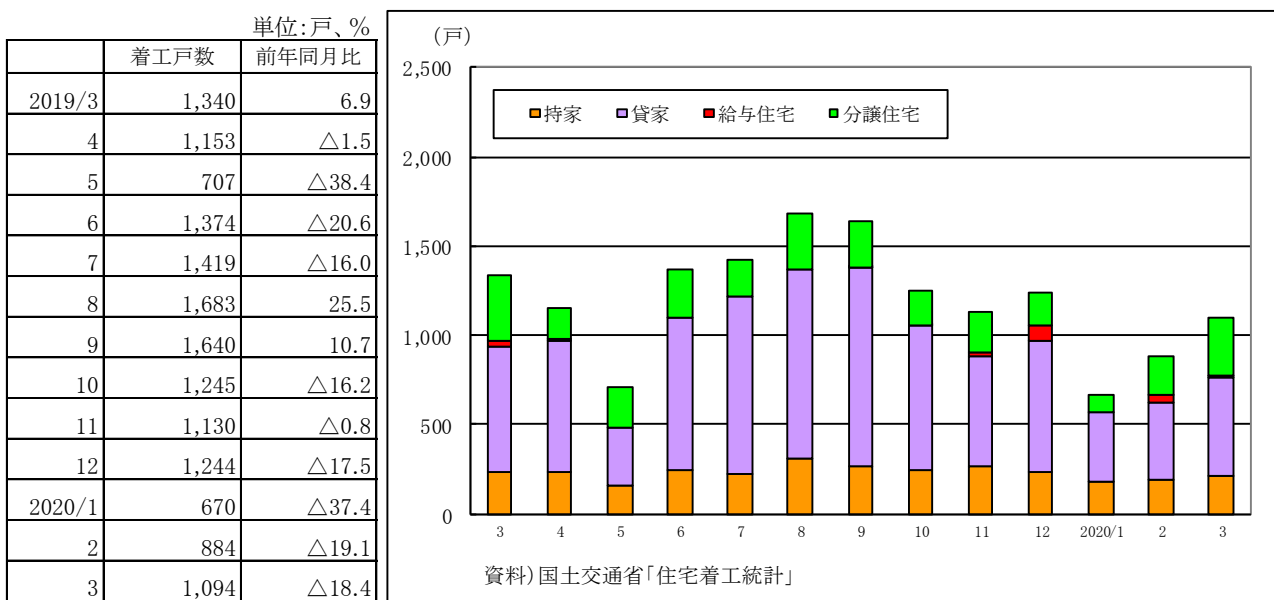
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、正確にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は11.0%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向けは、中南部地区における空港関連や学校関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より15.2%下回り、民間工事向けは、中南部地区における住宅関連や店舗関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より9.2%下回りました。セメント出荷量は8.5%減と6ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(3月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。

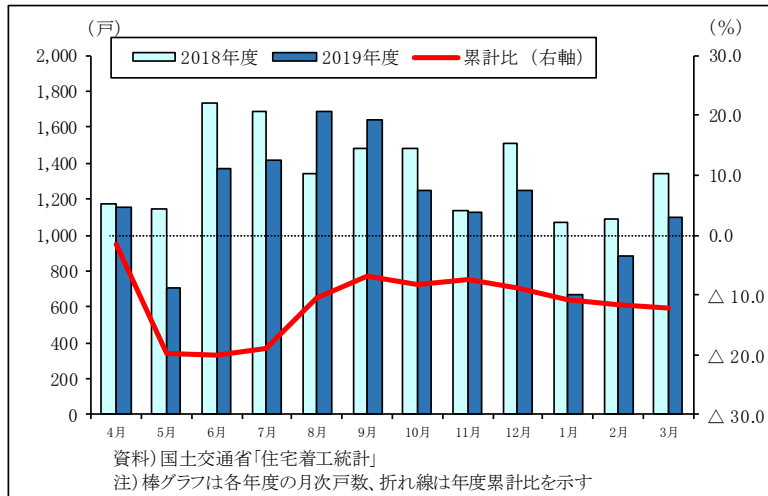


新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比18.4%減の1,094戸となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同22.4%減)」のほか、「分譲住宅(同13.4%減)」や「持家(同10.2%減)」、「給与住宅(同51.9%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

単位:戸、%

	2018年度	2019年度	累計比 (右軸)
4月	1,171	1,153	△1.5
5月	1,148	707	△19.8
6月	1,730	1,374	△20.1
7月	1,690	1,419	△18.9
8月	1,341	1,683	△10.5
9月	1,482	1,640	△6.8
10月	1,486	1,245	△8.2
11月	1,139	1,130	△7.5
12月	1,507	1,244	△8.7
1月	1,070	670	△10.9
2月	1,093	884	△11.5
3月	1,340	1,094	△12.1



2019年度の累計値では、12.1%減となっています。





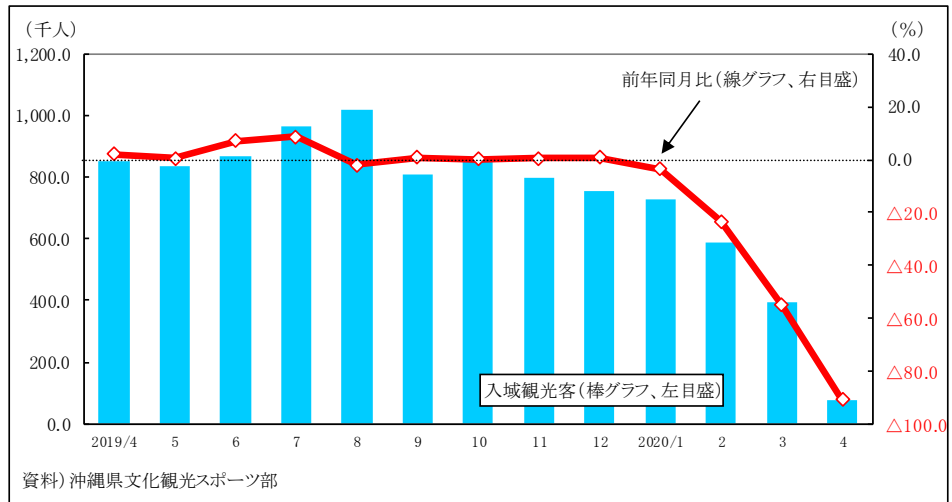
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・4ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2019/4	851.4	2.2
5	834.9	0.5
6	868.2	7.2
7	963.6	8.8
8	1,021.2	△ 1.9
9	809.3	1.0
10	851.3	0.2
11	799.2	0.5
12	755.1	1.0
2020/1	727.8	△ 3.4
2	590.9	△ 23.5
3	396.3	△ 55.2
4	77.3	△ 90.9

※外国客は乗務員等を含む

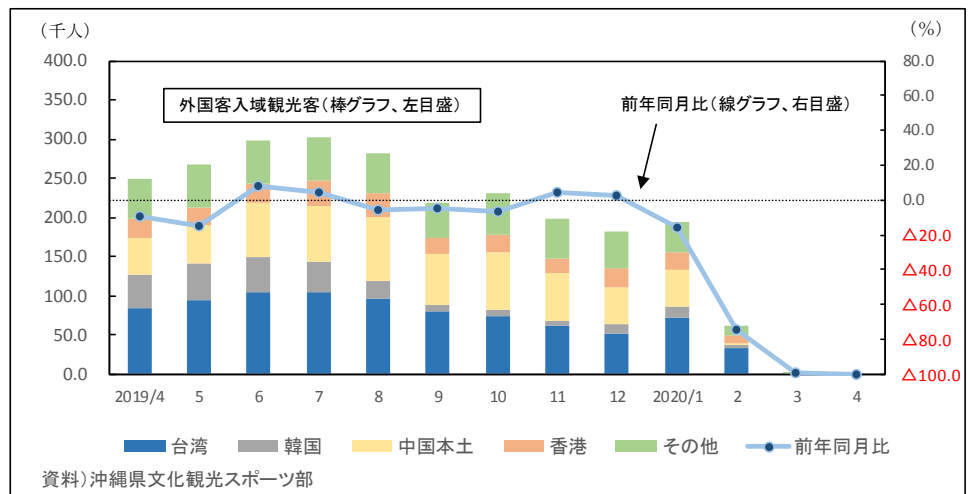


外国客 入域観光客数・・・4ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2019/4	250.3	△ 9.6
5	268.4	△ 15.1
6	298.4	8.5
7	302.8	4.1
8	282.9	△ 5.7
9	218.7	△ 5.1
10	230.5	△ 6.5
11	199.1	4.2
12	182.4	2.9
2020/1	193.5	△ 15.8
2	61.0	△ 74.6
3	2.4	△ 98.9
4	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



4月の入域観光客数は、774,100人少ない77,300人(前年同月比90.9%減)となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。

内訳をみると、「国内客(同87.1%減)」は、77,300人と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。航空便の運休・減便に加えて、国の緊急事態宣言が行われ、全国的に不要不急の旅行自粛要請が行われこと、また、沖縄県知事からも来県自粛を呼びかけたこと等から、前年同月を大きく下回りました。

他方、「外国客(同100.0%減)」は、0人となり4ヵ月連続で前年同月を下回りました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、台湾、中国、香港、韓国等の地域を対象に、国による厳しい入国制限の措置がとられたことから、皆減となりました。

「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」

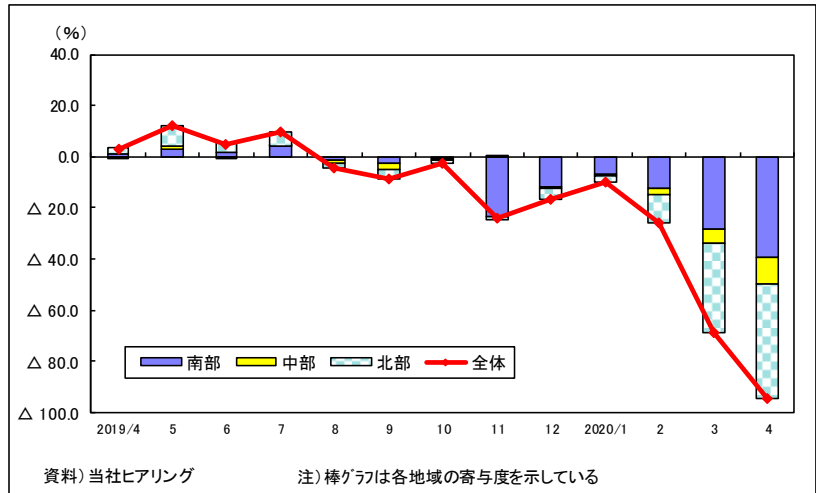
※乗務員等を除く2020年4月実績＝全体77,300人(同90.6%減)、外国客0人(同100.0%減)、国内客は変わらない。



② 観光施設入場者数・・・9ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2019/4	3.2	1.9	△ 2.2	5.7
5	12.0	6.4	11.1	17.6
6	4.6	3.5	△ 6.7	7.8
7	9.8	10.8	2.8	10.3
8	△ 4.2	△ 4.1	△ 11.2	△ 3.0
9	△ 8.7	△ 6.3	△ 25.2	△ 7.1
10	△ 2.7	△ 1.5	△ 9.4	△ 2.4
11	△ 24.2	△ 51.7	3.8	△ 3.3
12	△ 16.7	△ 27.7	△ 6.8	△ 8.8
2020/1	△ 10.1	△ 16.4	△ 6.7	△ 5.3
2	△ 25.7	△ 31.6	△ 23.7	△ 21.3
3	r △ 68.5	△ 68.8	r △ 52.9	△ 71.8
4	△ 94.8	△ 95.6	△ 95.5	△ 93.9



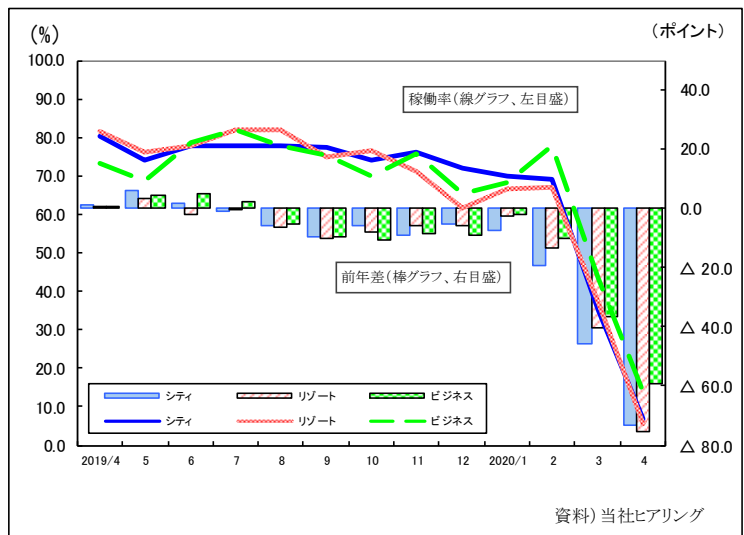
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設  
 ※2019年3月より、北部の対象施設数に変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より94.8%減少(9ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同95.6%減と9ヵ月連続、中部は同95.5%減と5ヵ月連続、北部は同93.9%減と9ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

単位: %, ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2019/4	80.2	81.4	73.4	1.3	0.8	0.4
5	74.2	76.2	68.8	6.3	3.3	4.3
6	77.8	77.7	78.6	1.9	△ 1.8	5.1
7	77.8	81.9	81.8	△ 1.2	△ 0.4	2.3
8	77.8	81.9	77.6	△ 5.6	△ 6.1	△ 5.4
9	77.5	75.0	75.3	△ 9.4	△ 10.4	△ 9.6
10	74.1	76.4	70.0	△ 5.8	△ 8.0	△ 10.5
11	76.3	71.2	75.6	△ 9.1	△ 5.6	△ 8.7
12	72.1	61.8	65.4	△ 5.2	△ 5.9	△ 8.8
2020/1	70.1	66.8	68.1	△ 7.6	△ 2.4	△ 1.9
2	69.1	67.1	77.6	△ 19.1	△ 13.2	△ 10.4
3	r 34.9	r 37.3	43.2	r △ 46.0	r △ 40.1	△ 36.7
4	6.8	5.8	13.9	△ 73.4	△ 75.6	△ 59.5



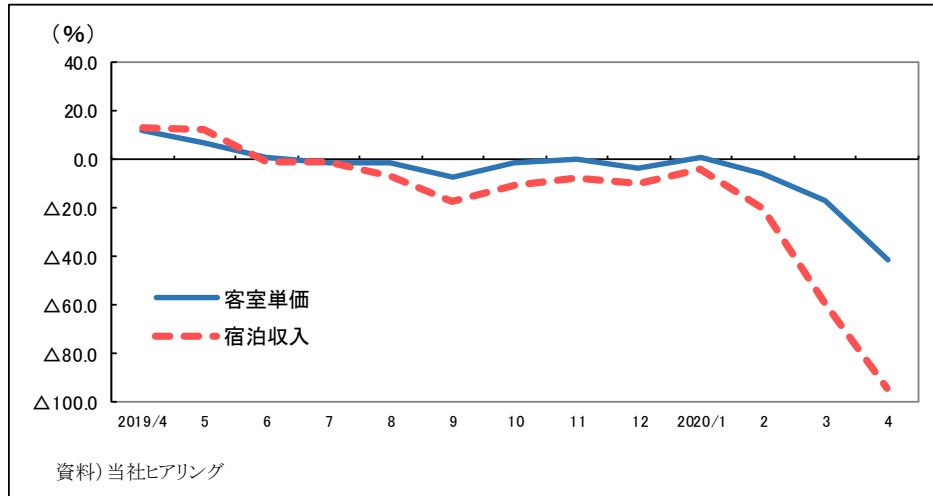
注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル  
 注)2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが6.8%と73.4ポイント減少(10ヵ月連続)、リゾートホテルが5.8%と75.6ポイント減少(11ヵ月連続)、ビジネスホテルが13.9%と59.5ポイント減少(9ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2019/4	12.3	13.4
5	6.7	12.2
6	1.1	△1.0
7	△0.9	△0.8
8	△1.4	△7.0
9	△7.4	△17.5
10	△1.2	△10.2
11	△0.1	△7.8
12	△3.3	△9.7
2020/1	0.7	△3.9
2	△5.8	△20.1
3	r △17.2	r △58.6
4	△41.2	△94.3



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 41.2%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同94.3%減と前年同月を下回りました。

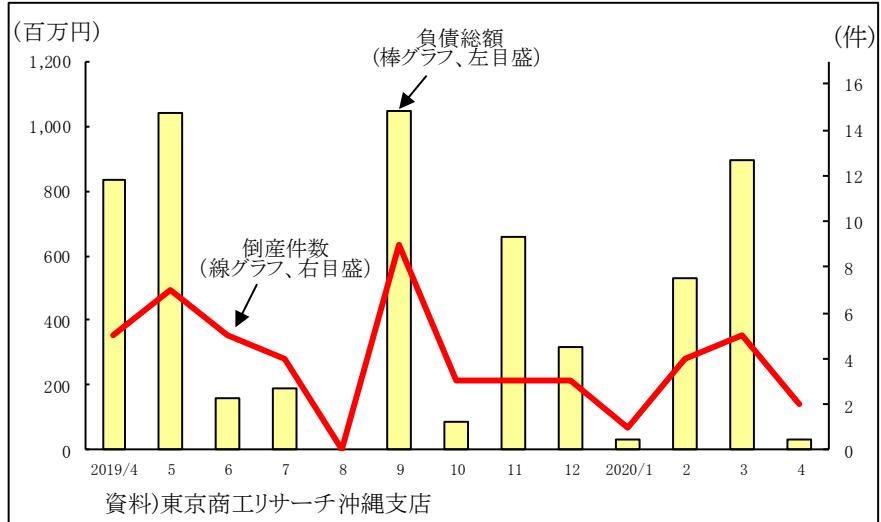


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2019/4	832	5
5	1,042	7
6	163	5
7	190	4
8	0	0
9	1,045	9
10	86	3
11	660	3
12	318	3
2020/1	30	1
2	530	4
3	897	5
4	30	2



4月の企業倒産件数は、2件(うち大口倒産はなし)となり、前年同月より60.0%下回りました。

負債総額は3,000万円となり、前年同月より96.4%下回りました。

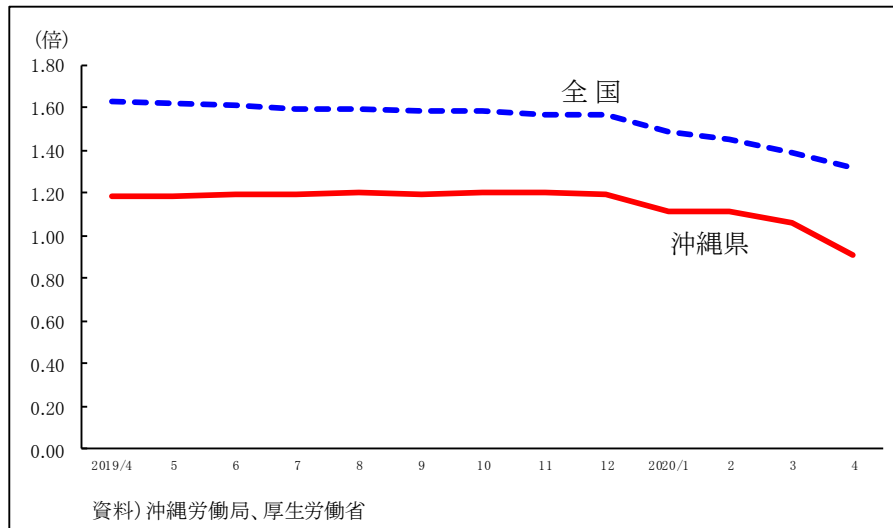


■雇用関連： (ふつう)

有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2019/4	1.18	1.63
5	1.18	1.62
6	1.19	1.61
7	1.19	1.59
8	1.20	1.59
9	1.19	1.58
10	1.20	1.58
11	1.20	1.57
12	1.19	1.57
2020/1	1.11	1.49
2	1.11	1.45
3	1.06	1.39
4	0.91	1.32



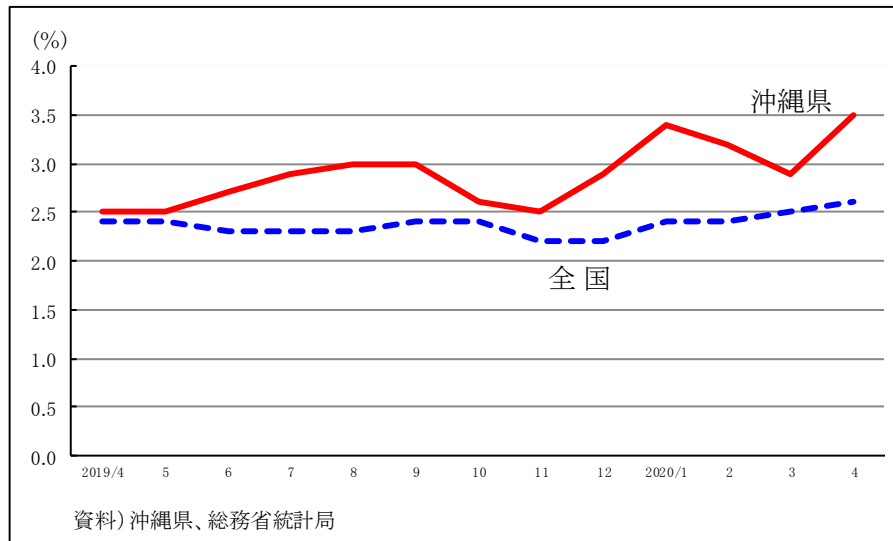
注) 季節調整済

4月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比13.7%減の23,679人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.3%増の25,984人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.91倍となり前月より0.15ポイント低下しました。

完全失業率・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:%

	沖縄県	全国
2019/4	2.5	2.4
5	2.5	2.4
6	2.7	2.3
7	2.9	2.3
8	3.0	2.3
9	3.0	2.4
10	2.6	2.4
11	2.5	2.2
12	2.9	2.2
2020/1	3.4	2.4
2	3.2	2.4
3	2.9	2.5
4	3.5	2.6



注) 季節調整済

4月の完全失業率(季節調整値)は、3.5%となり前月より0.6ポイント上昇しました。